

レッツ コミスク Let's join community school

1 自然観察園などの環境整備は任せて！

子どもたちが虫取りや樹木の観察をする自然観察園が大曲小学校にはあります。そこは、気にせずいつでも入っていきける、きれいに刈りはらわれた自然観察園です。

環境整備部の委員は、「気がついたときに、こちらでやっておくから。」と話します。そこには、地域の学校として、進んで環境整備に携わる委員の姿があります。

子どもたちの活動が中心ですが、花壇整備にも環境整備部が関わっています。子どもたちがよく学ぶことのできる環境づくりをこれからも協力して行っています。



2 初めての試み「放課後寺子屋」

新型コロナウイルス感染症の全国的な流行で、今年度はまだ開催できていませんが、大曲小学校では昨年度から放課後寺子屋を開催しています。

これは、月曜日の放課後に希望する子どもたちを対象として、通常の学習内容の補充や発展的な学習を地域のボランティアの協力で行っています。

昨年度は2学期からの実施でしたが、ボランティアの協力のもと合計8回の放課後寺子屋を行うことができました。



3 学校と地域をつなぐコーディネーターは今

大曲小学校の学校運営協議会では、地域の方からコーディネーターを選任しています。これは市内でも初めてのケースです。

学校と地域をつなぐコーディネーターは、一朝一夕に地域と学校のつなぎ役を果たせるとは限りません。

初年度となる今年度のコーディネーターの活動は、いろいろと事業や活動があるたびに学校に足を運んで学校の様子を理解してもらうことを心掛けています。地域と学校をよりよくつなぐとても大切な役割を期待しています。



主体的に進められる地域学校協働活動 第6号



地域の企業の協力も得て、タイヤ遊具設置

大曲小学校では、学校を核とした地域力強化プランとして、計画を明示し地域学校協働活動である学校支援等に取り組んでいます。年間を通した学習支援の事業計画案も作成され、学習充実部、環境整備部、安心安全部、教育支援部の4つのプロジェクトに分かれて実施されています。

新型コロナウイルス感染防止のために、今年度は思い通りに進んでいないところもありますが、そのような状況でもPTAと連携して安心安全の活動やボランティアによる学習支援が行われています。

令和2年度学校支援事業計画

月	事業・支援内容	担当事業	備考
4	4 春の運動会開催 5 第1学期開校式 6 入学式 10-11 運動会(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため) 2-4 読書・読書会・PTA読書対決		この欄に記されていない内容は、協働活動・ボランティア活動等によるものである。また、その実施状況については、随時報告する。
5	1-3 読書対決 1-4 読書対決 1-5-1 読書対決(読書対決) 2-1 読書対決 2-2 読書対決(読書対決)		※ 今年度、読書対決の開催予定は、その実施状況により、変更される可能性があります。その場合は、その旨を報告いたします。また、読書対決の開催状況については、随時報告いたします。
6	6 読書対決(読書対決) 6 読書対決(読書対決) 2-3 読書対決(読書対決) 2-4 読書対決(読書対決)		
7	1-3 プール開校 1-4 学校説明会(Aグループ) 1-5 学校説明会(Bグループ) 2-1 読書対決(読書対決) 2-2 読書対決(読書対決) 2-3 読書対決(読書対決) 2-4 読書対決(読書対決)		
8	1 子ども家庭サポート(公民館併設センター) 1 読書対決(読書対決) 8-1 読書対決(読書対決) 2-1 読書対決(読書対決) 2-2 読書対決(読書対決) 2-3 読書対決(読書対決) 2-4 読書対決(読書対決)		
9	10-17 読書対決(読書対決)		



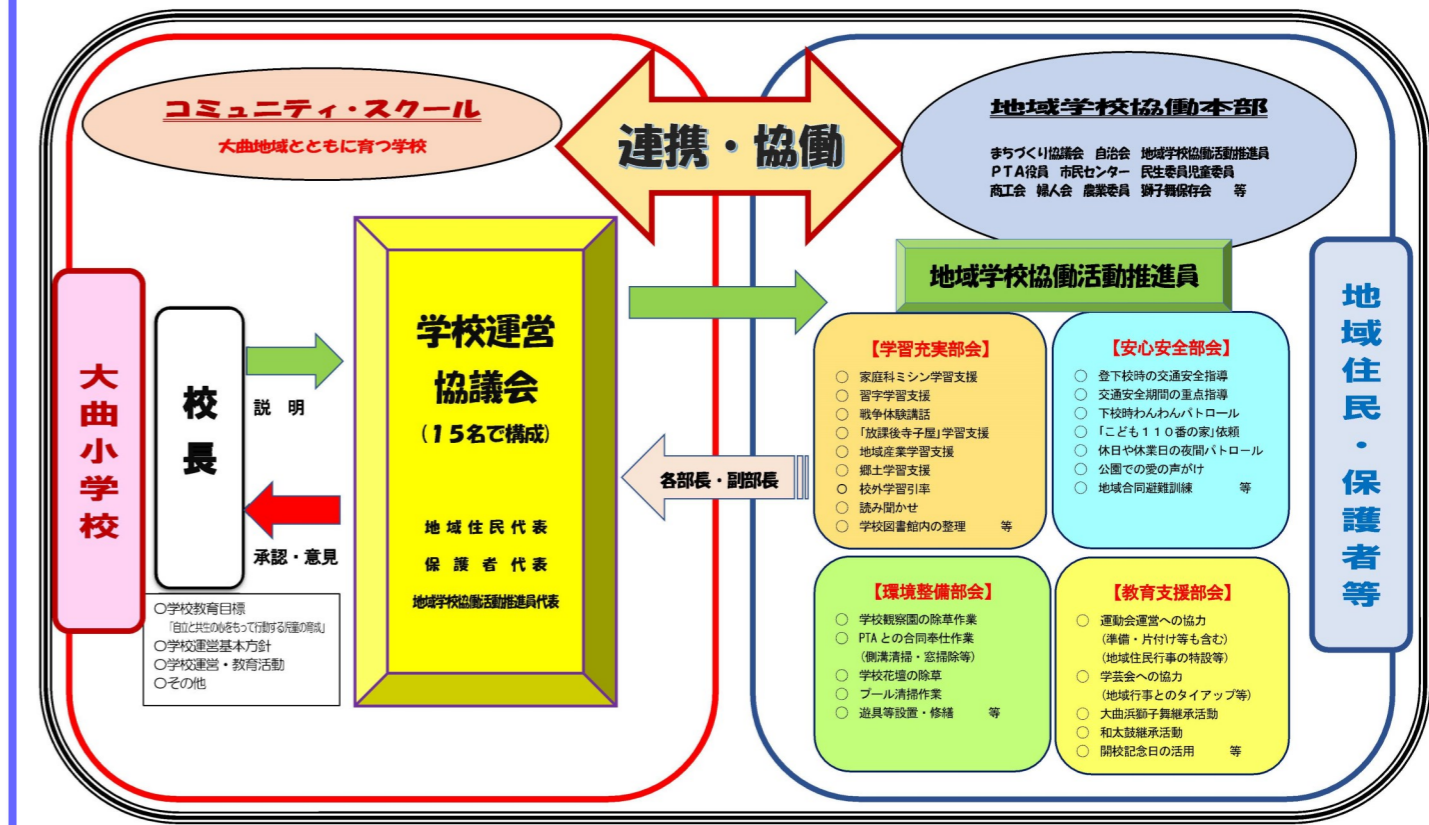
PTAと連携して危険箇所点検



個に対応したミシン学習補助

大曲小を核とした地域力強化プラン

合言葉
つながろう みんなと！ つなげよう みんなを！



東松島市学校運営協議会会長等研修会

10月21日(水)18:30から、学校運営協議会会長等研修会が開催されました。

教育長からは、「地域との結びつきが強く地域に支えられてきている東松島市だが、子供を核にして地域も元気になるべく歩みが期待されている。目標やビジョンを学校と地域が共有し、小中の接続と連携を強めた9年間の学びを支えるCSの取組のヒントに繋がる機会となればと思う。」との挨拶があり、早速宮城県松島自然の家成瀬啓所長(社会教育主事)を講師とした研修が始まりました。

研修では、コミュニティ・スクールの基礎について振り返りを行い、なぜ熟議が必要となるのか話され、熟議の方法・熟議の進め方として「ワールドカフェ」の実践を行いました。ワールドカフェでは積極的に話し合う姿が見られ、学校と地域に対する思いの強さを感じる研修会となりました。

研修後のアンケートでは、満足度高評価(参加して良かった:95%、理解できた:80%)をいただきました。会長・副会長のみなさんからは、このような情報交換の機会を今後も希望する意見がありました。

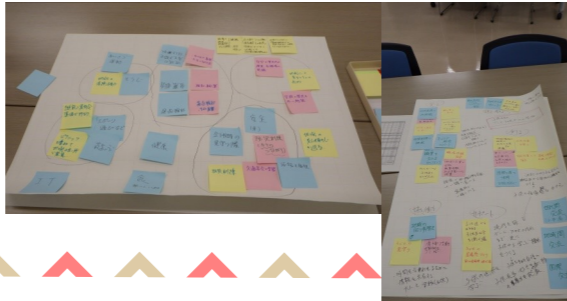
限られた時間の中で、実践を交えながら各学校運営協議会で活かせる研修を実施して頂きました松島自然の家の成瀬啓所長様に感謝申し上げます。

※ ワールドカフェについて

ワールドカフェ方式とは新しい「話し合いの手法」です。1995年に開発・提唱された比較的新しい話し合いの手法です。

話し合いの進め方 ※ 司会役によって進められます

- ①4人1組で席に着く(テーマはどのテーブルも同じ)
- ②一定時間で1人を除き席を移動する
- ③紙に意見やアイデアを書く
- ④参加者全員で情報共有する



ワールドカフェ方式の効果

- ①自分の意見を言いやすい。
- ②相手との繋がりを意識できる。
- ③参加者全員の意見や知識が共有できる。

気軽にお茶を口にしながら行うなど、話やすく発言が増え様々な意見に触れ合える。そんな話し合いの仕方です。



東松島市教育委員会コミュニティ・スクール推進係

宮城県東松島市矢本字上河戸36-1

電話: 0225(82)1111 内線1251

FAX: 0225(82)1845

電子メール:

c-school@city.higashimatsushima.miyagi.jp

<http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/32,22113,107,html>

東松島市教育委員会
コミュニティ・スクール推進係

第6号

発行日
2020.11.11

レッツ コミスク

Let's join community school

11月は、大曲小学校の紹介です。

目次:

第2回学校運営協議会について 1ページ

自然観察園など環境整備は 2ページ
任せて!

初めての試み放課後寺子屋 2ページ
の取組

学校と地域をつなぐコーディネーターは今 2ページ

主体的に進められる地域学校協働活動 3ページ

東松島市学校運営協議会会長等研修会の報告 4ページ

7月、第2回学校運営協議会が開催されました

大曲小学校では、5月の第1回学校運営協議会が書面にて行われ、1号議案「学校運営協議会委員及び協働活動推進員について」2号議案「学校経営方針について」3号議案「学校支援事業計画について」、4号議案「会計予算」について、全委員一致で承認されました。

第2回は、7月30日に開催され、①学校課題と学校経営方針について、②コロナウイルス感染症に係る学校の対応について、③学校支援事業計画について、④プロジェクト部の活動について話し合いが行われました。

会議では、新型コロナウイルス感染症対応について、トイレの清掃や見守り、朝の体調確認、放課後の消毒等協議されましたが、プロジェクト部で役割分担をするのではなく、全体で話し合っ出来る限り多くの提案を出すこと、運営協議会としてボランティア参加の声掛けをしていくこと等を確認し、休み明けに改めて集まることになりました。大曲小学校では、地域学校協働活動を根付かせるための熟議が続けられています。



大曲小の取組

- 1 自然観察園など環境整備は任せて!
- 2 初めての試み放課後寺子屋の取組
- 3 学校と地域をつなぐコーディネーターは今



輝くひとみのきみが見たい
きみの輝く未来が見たい

ご存じですか? 「令和の日本型学校教育」とは

現在、国の中央教育審議会にて審議中の学校教育の考え方。SDGs(持続可能な開発目標)に取り組む中でICTを基盤としつつ日本型学校教育を発展させ2020年代を通じて実現を目指す学校教育のこと。

そのために、小中高の1人1台端末環境実現やデジタル教科書等の先端技術や教育ビッグデータを活用できる環境の整備等による指導・支援や校務の効率化、災害や感染症発生時でも不安なく学習継続できる学校施設の整備や小中連携や学校施設の複合化・共用化等の促進を通じた魅力的な教育環境の実現が求められています。